

広2 防災だより

広野台第二自治会自主防災会
情報収集・広報班
2018年度 NO.2
2018.6

神奈川県総合防災センター体験見学会+勉強会！



今年は30人(子供3名)が
参加されました
初参加 約20名

県総合防災センター
(10時～11時半)では

- ・震度7相当の地震体験
- ・風速30mの暴風体験
- ・火災の煙の中の避難訓練
- ・水消火器による模擬消火訓練
- ・防災映画鑑賞

をしました



地震体験はリニュアルされ、
緊迫感がありました

集会所で自主防災の勉強会(昼食後13～15時)をしました！

(出席者 21名)

① 防災センター体験の振り返り



初参加

1回だけでは、体に浸み込まないので
また参加したい。地震で東日本・阪神
淡路などの話を聞くが、実感がなかつ
たが起震機で体験できた。

地震体験、煙の体験
など出来て良かった。大変さがよく分
かった。
消防の歴史展示が
印象に残った



初参加

子供に印象を聞いたら、
アトラクション感覚で
面白かったとの事



このような行事
が、学校・PTA・
自治会で連携出
来ると良い

段ボールで作った仮設トイレの展示が印象に残った。災害時にすぐ必要になるので試して作ってみたい。ごはん等を飲料不適のお湯を使って炊いてみたい。


初参加
手話研修中

排泄物を無臭・固形化するものがある。イベントで配り試してみることも考えたい



地震体験コーナーがリニューアルされていた。屋外にいる時は逃げ場所の判断が難しい。こういう体験会に声かけあって参加を促したい。

開催回数を増やしたり、少人数での開催を計画したり検討しましょう

地震体験コーナーで、試しに立ったままで体験してみた。怖かった。震度6になると動けない。家の中ではどこに逃げるか、玄関・トイレ？普段から考えておく必要があると感じた。


本部長・初参加


初参加

阪神淡路は明石で被災した。家のドアが開かなくなって危なかった。揺れている時は動けなかった。公衆電話はつながりやすいようだが、携帯は通話ができなくなる。

初めての参加で、良い体験ができた。是非、PRして参加者を増やしたい。


副本部長 1

複数回来ている。リニューアルされて良かった。参加者は増加傾向なので、次回も増えるとよい。


副本部長 2

携帯でのメールや掲示板・伝言板など、みんなが使えるようにした良い

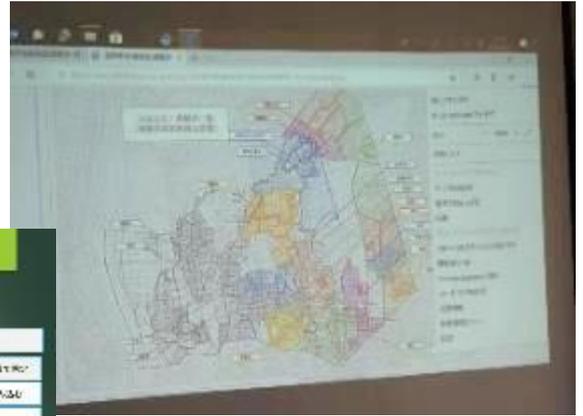
この体験見学会は続けて開催されている。さらに続けて、体験者を増やそう。


本部長補佐

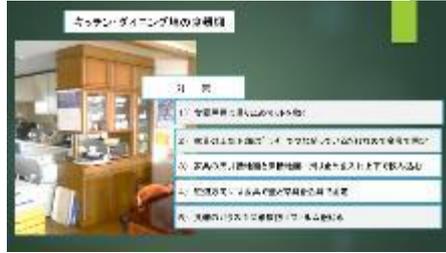
② 講習会（スライド利用）

① 座間市内避難所と避難所開設運営訓練実施自治会マップ

災害時はどこの避難所へ行っても良いが、
落ち着いたらエリアの避難所で生活する。



② 家具転倒防止 実施例(清原宅)について



③ 集合場所・避難場所・避難所の意味

a) いっつき集合場所……班の人達の「安否確認」・「消火」・「救助」の拠点

b) 一時避難場所(コナカ駐車場)

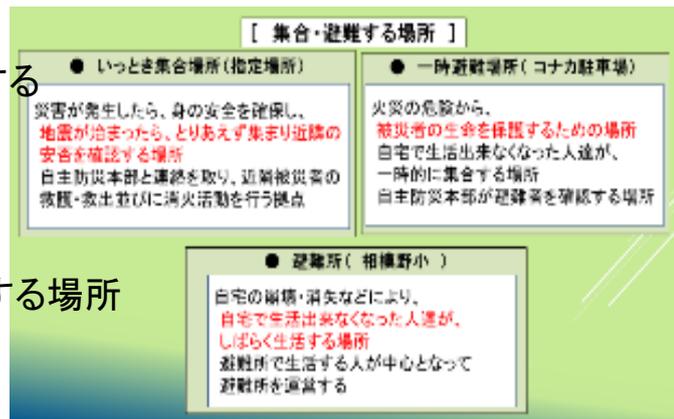
……家が被災し住めない人が一時的に集合する
近隣に火災の危険があり危険を感じた人
避難所に行く前に集合する場所

c) 避難所(相模野小)

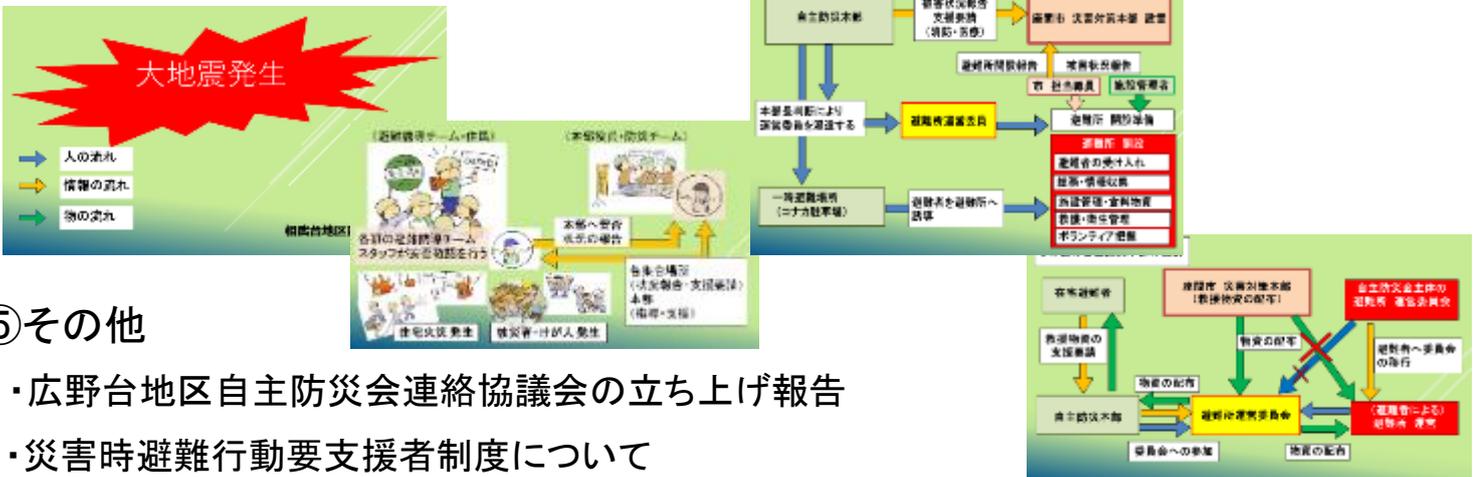
……家で生活が出来ない人が一時的に生活する場所
運営は避難者同士で行う

d) 避難所開設運営委員会(常設)の役割

……避難所訓練の実施・マニュアル作り・災害時開設準備・災害時当初の運営



④ 災害時 自主防災会の役割と避難までの流れ



⑤ その他

- ・広野台地区自主防災会連絡協議会の立ち上げ報告
- ・災害時避難行動要支援者制度について

支援体制を作る必要性和近隣による相互援助が広がることを期待
対象者の方を知る必要がある(現段階で手を挙げている方は9名)

以上